



2016年12月15日

各位

会社名 株式会社タケエイ
代表者名 代表取締役社長 山口 仁司
(コード: 2151 東証第1部)
問合せ先 取締役常務執行役員 柳澤 茂
(TEL 03-6361-6871)

秋田県大仙市における木質バイオマス発電事業参入に関するお知らせ

当社は、秋田県大仙市において、木質バイオマス発電事業の立ち上げに関して具体的な検討を進めてまいりましたが(2016年11月17日付リリース「秋田県大仙市における木質バイオマス発電事業検討開始に関するお知らせ」)、このたび正式に事業の開始を決定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

なお当社における木質バイオマス発電は、東北地方において4件目(青森県平川市、岩手県花巻市、福島県田村市、秋田県大仙市)となり、2018年の開業を予定している株式会社横須賀バイオマスエナジー(神奈川県横須賀市)とあわせ国内5件目となります。

記

1. 当バイオマス発電事業スキームについて

当バイオマス発電事業につきましては、植林・造林・素材生産から製材・販売まで一貫事業を行う秋田県内有数の生産規模を誇る「株式会社門脇木材(本社 秋田県仙北市 代表取締役 門脇桂孝、以下「門脇木材」)」との協業の形をとり、同社製材工場の隣接地に発電所を建設し発電・売電を行う「木質バイオマス発電」となります。

本件木質バイオマス発電の燃料は、森林資源が豊かな秋田県内にあって、これまで有効に活用されなかった木材(低質材・林地残材及び端材・樹皮など)を地元の林業者・素材生産者が分別集積した後、門脇木材子会社の「株式会社秋田バイオマスチップ」において燃料用チップに加工・製造され、当発電所に供給されることとなります。

こうした事業モデルは、長期にわたる地元素材生産者、製材事業者との密接な連携を図ることで、より有効に機能することになり、木質バイオマス発電事業の基本である、原木すべてを無駄なく使いきる、木材のカスケード利用^{*1}スキームを構築することができます。当プロジェクトは、林業王国秋田における林業活性化と再生可能エネルギー事業の理想型のひとつとして、「素材生産+製材+売電」を一体的に運営することを目指します。

加えて、さらに事業の持続性を企図し、関係をより強固なものにするため、当社は秋田バイオマスチップに相応の出資を行い、また当発電会社(「秋田グリーン電力株式会社」)も門脇木材から出資を受け入れることとします。双方の出資の割合については現在協議中です。

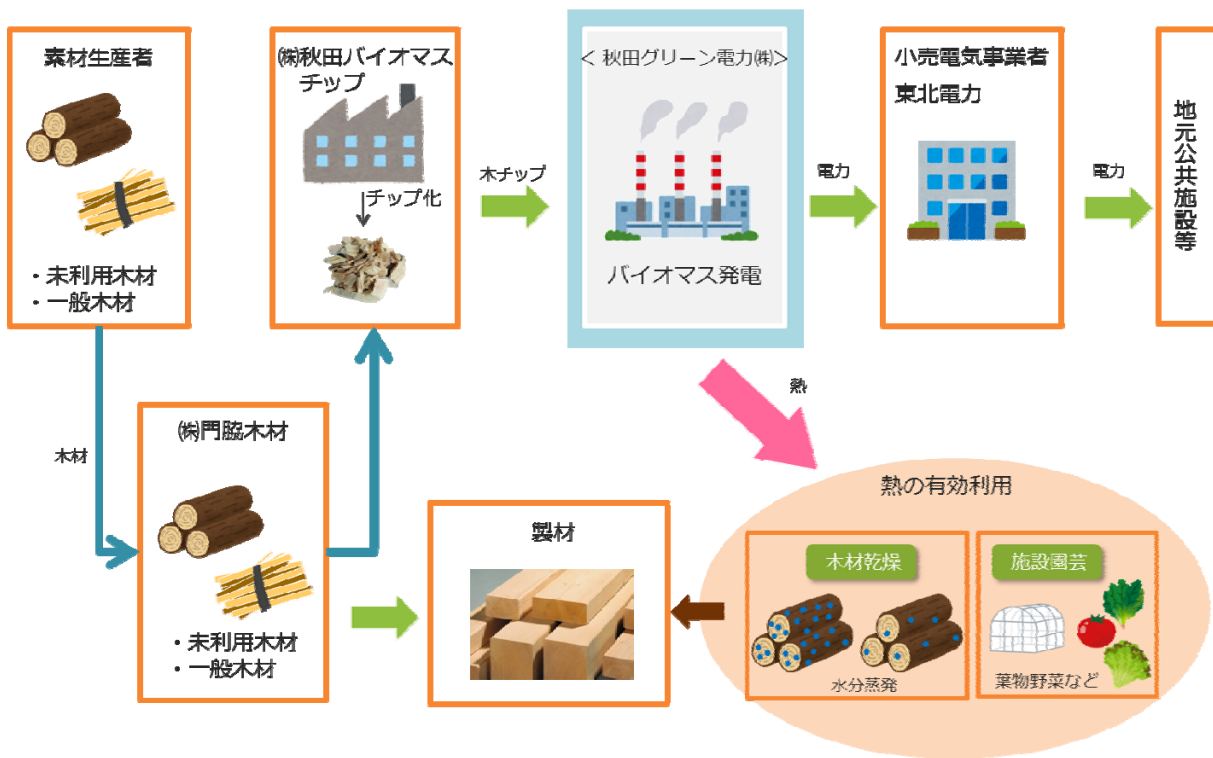
発電した電気は、東北電力及びその他小売電気事業者に売電する予定です。発電した電力の供給についても、他プロジェクトと同様に、同地域での利用を促進することでより進んだ地産地消型エネルギー実現に向けて、地元での小売電気事業への参入も計画しています。

さらに発電された電気や熱を有効活用するための方策についてもすみやかに検討し、具体化に向けて取り組んでまいります。

なお今回の事業化にあたっては、地域の活性化及び雇用創出に関わる助成金等を積極的に活用してまいります。

※1 カスケード利用：木材を建材等の資材として利用した後、ボードや紙等の利用を経て、最終段階では燃料として利用すること(林野庁HP)

バイオマス発電事業スキーム概要図（大仙プロジェクト）



2. 売電開始時期 及び 事業規模について

- (1) 運転時間 24時間/日
- (2) 年間運転日数 330日/年(予定)
- (3) 発電量 7,000kW程度
(一般家庭 約15,000世帯の年間消費電力量に相当^{※2})

※2 一般家庭 300kWh/月 として試算した場合

- (4) 売電方法 固定価格買取制度(FIT)による電力会社との直接契約、もしくは小売電気事業者との買取契約を予定しています。

- (5) 売電開始 2019年春頃の予定
- (6) 総事業費 25億円程度
(地域の活性化及び雇用創出に関わる各種助成制度も活用を検討します。)
- (7) その他
 - ・本事業スタートにより、雇用の創出による地元の活性化、エネルギーの補完、林業の活性化など、地域へさまざまな波及効果が見込まれます。
 - ・地球温暖化の一因とされるCO₂削減効果が見込まれます。

3. 秋田グリーン電力株式会社の概要

- (1) 名称 秋田グリーン電力株式会社(準備会社として設立済)
- (2) 本社所在地 秋田県大仙市協和稲沢字台林16番地1
- (3) 事業予定地 秋田県大仙市協和稲沢字台林16番地1他4筆
- (4) 代表者 門脇桂孝(門脇木材 代表取締役) *増資後変更予定
- (5) 事業内容 木質バイオマス発電事業
- (6) 資本金 100万円(門脇木材100%)
- (7) 出資予定 2017年1月上旬 …… 資本金 1000万円(タケエイ:90%、門脇木材10%)
(今後、合弁スキームを固め、3億円～5億円を目途に増資してまいります。
なお、事業の主体を担う当社は、常時50%超を確保します。)

4. 今後の見通し

当プロジェクトによる今期連結業績への影響は軽微です。

本事業は2019年頃の稼働を予定しておりますが、本稼働後の収益寄与については現在精査中です。

以上